

絵本と わたしの 物語展



2025年10月26日[日]~11月4日[火]

創価学会愛媛文化会館

10:00~20:00
(初日は12:00開場)

入場無料

お車をご利用の場合 松山自動車道「松山IC」より約15分

バスをご利用の場合 【伊予鉄バス】 拝志線「高尾田東」徒歩2分／森松・砥部線「高尾田」徒歩5分／砥部線「高尾田」徒歩5分
【ジェイアール四国バス】 久万高原線「高尾田」徒歩5分

主催：創価学会「絵本とわたしの物語展」えひめ展実行委員会 企画協力：毎日新聞社

後援：愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、愛媛県書店商業組合

<https://ehon.tenji-kai.jp/>



愛媛県伊予郡砥部町高尾田275-1

絵本と わたしの 物語展



これまで絵本は「子どものもの」と思われがちでしたが、
今や多くの大人向け絵本が出版され、
中高生や高齢者への読み聞かせも好評で、
世代を超えた広がりを見せています。
隠れた名作や世界の絵本など
約250種600点を手にとって「読む」ことができます。
また、絵本を読んだ子ども時代を振り返って、
「語らいの弾む」空間も用意しました。
子どもから高齢者まで「読んで」「語って」「参加して」、
交流が深まる展示会を、どうぞお楽しみ下さい。

第一章

あなたの 知らない 絵本の世界

大人こそが楽しめる絵本、ナンセンス絵本、アートとしての絵本、高齢者にも読んでもらいたい絵本など、「絵本のイメージ」が一変するような作品を集めました。



3びきの子ブタ・赤ずきん

●おなじみの『3びきの子ブタ』や『赤ずきん』にも、いろいろなストーリーやパロディがあります。



ワイルドスミス氏 挿絵本

●池田SGI会長執筆、ブライアン・ワイルドスミス氏挿絵による4部作。原画も一部展示。



第二章

よみがえる わたしの 物語

昭和・平成力キャラクター年表

絵本を読んだ子ども時代を、当時の生活用品やおもちゃ、年表などを使って振り返ります。友人や、家族との語らいが広がるコーナーです。



●昭和30年代の家庭風景。
茶の間の中心にはテレビがありました。



ミリオンセラー絵本

●子どものころ夢中になった、戦後のミリオンセラー絵本も、手にとって読むことができます。

第三章

体験・参加 コーナー

物語の主人公はわたし

自ら物語の中に入って、楽しんでもらうコーナーです。



●『不思議の国のアリス』の世界に入り込んで、記念撮影をしよう！
物語の主人公になって、「わたしの物語」を描いてみてください。
●デジタル技術を利用した、『花咲かじいさん』の疑似体験コーナーもあります。